NIE実践報告

1．タイトル：☆夢と希望に満ちた未来設計図づくり

2．学校名

千葉県市川市立南行徳小学校

3．実践者名（代表者名）

武藤和彦

4．学年

第6学年（2組）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　38人

6．単元（本時の学習課題）名

ホンものから学ぼう

7．目標（狙い）

①新聞記者（編集者）から新聞紙面づくりの工夫や伝えたいことを聞いて未来設計図づくりに生かさせる
②今できる職業観・就労観に触れさせ、将来への展望を持たせる

8．評価の視点

①自分の知りたいことを聞いたり伝え合うことができたか
②未来設計図に考えや知りたいことを反映できたか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

キャリア教育（夢と希望に満ちた未来設計図づくり）（総合的な学習の時間）15単位時間扱い。
①討論（1単位）②未来設計図づくり（2単位）③仕事調べ（5単位）④記者から（1単位）⑤新聞制作（6単位）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

本時展開（9/15単位時間）
①毎日小学生新聞編集次長の紹介（『仕事百科』担当者の招聘で児童の未来づくり設計に役立てる）
②本時の学習活動を確認
③仕事百科を活用する（お笑い芸人）。この紙面を活用し仕事を持つ人たちの喜びや苦労・工夫を知る。
④どんな職業でも華やかな面だけがクローズアップされるが、積み重ねがあって地位を築くことを知る。
⑤安直に職業を考えず、自分の適正や意欲が不可欠であることを知る。
⑥新聞記者（編集者）に『仕事百科』掲載の経緯や今の子どもたちに伝えたいことを語ってもらった。
「夢や希望は捨てずに、今を大切に一歩一歩つき進むことが夢の実現に近づく早道です」とおっしゃっていた。
⑦未来設計図に加除訂正をした（聞いて学んだことを付加したりする）
⑧本時をふり返り、次の学習の見通しをもった。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

①自分の将来を見すえた学習であるため、資料の使い方や学ぶ姿勢が真剣であった（臨場感にあふれている）
②やはり、現場で仕事をしている新聞記者の招請はインパクトがあり、学びに意欲的になり効果的に学習財になった。③将来をいい加減に考えていたのだが、改めて自分探しができたようだ。

12．成果と課題

①ホンモノの招請で効果的で魅力あふれる授業が展開できた。
②手さぐりで始めているキャリア教育であるが、指導の方向性や指針が見え始めてきた。
③子どもの興味や関心の高い教材であるため、計画的・組織的・意図的・系統的な活動計画を立案でき、今後の年間計画に位置づけることができそうである。
④現場での職業体験も必要だろうが、事業所や企業に迷惑をかけることが予想される（地域の小中学校とのバッティングが予想される）。